

各位

2022年3月10日

共英製鋼株式会社

枚方事業所・製品倉庫の太陽光発電設備が完成：
自家発電・自家消費で事業採算性確保

当社の枚方事業所（大阪府枚方市、所長 川井健司）では、昨年7月に竣工した製品倉庫の屋根に太陽光パネルの設置を進めていましたが、このほど設置が完了し、発電設備が稼働を開始しました。

当社グループでは、「2030年度のCO₂排出量を2013年度対比50%削減」という目標を掲げ、2021年度から取り組む中期経営計画「NeXuS 2023」に具体的な施策を織り込んでいます。目標である「CO₂排出量50%削減」に対しては、省エネルギーや低環境負荷燃料への転換などのほか、再生可能エネルギーの活用や緑化事業の推進等によって達成する計画であり、枚方事業所の太陽光発電はその一環となります。

枚方事業所の製品倉庫は、設計段階から太陽光パネルの設置を予定し、建設と並行して太陽光発電システムの選定を進めました。FITなど固定価格買取制度の買取価格が低下している状況下、自家発電・自家消費によって電力コストの削減が可能となることを条件にプランを選定。完成した太陽光発電設備は、パネル面積約3,250㎡、発電能力442.8kWであり、計画年間発電量は約486MWh、これにより削減されるCO₂排出量は年間約190トンとなる見込みです。2022年1月15日に工事が完了し、翌16日から順調に発電・消費を行っています。

電炉メーカーである当社では、鉄スクラップの溶解などに多くの電力を必要とするため、この発電設備の効果は限定的ではありますが、自家発電・自家消費で事業採算性が担保できる実証モデルとして、今後、他の拠点や子会社にも展開していく方針です。

当社グループは、社会に貢献するエッセンシャル・カンパニーを目指し、資源循環型事業による鉄資源リサイクルを中核に、カーボンニュートラルの取り組みも積極的に進めていきます。

お問い合わせ先：共英製鋼株式会社 経営企画部 ESG推進室（06-6346-5222）

以上



太陽光パネルの設置が完了した枚方事業所の製品倉庫



屋根上の太陽光パネル



発電モニター